

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 八千代工業株式会社

コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 正彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部副本部長 経理部長 (氏名) 北村 哲也

TEL 04-2955-1211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	115,527	△26.6	504	△84.4	530	△81.6	△1,340	—
23年3月期第2四半期	157,497	28.7	3,242	—	2,888	—	1,499	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △728百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 783百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△55.83	—
23年3月期第2四半期	62.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	118,490	—	35,833	—	26.0	—
23年3月期	113,605	—	36,733	—	28.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,840百万円 23年3月期 32,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△11.3	3,600	△40.7	3,500	△38.2	△400	—	△16.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	24,042,700 株	23年3月期	24,042,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	29,043 株	23年3月期	29,013 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	24,013,660 株	23年3月期2Q	24,013,744 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想は、平成23年6月17日発表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」における業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日発表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おください。
なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
第2四半期連結会計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
第2四半期連結会計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済状況は、国内の景気は、東日本大震災の影響や円高の長期化などにより依然として厳しい状況にあるなかで、設備投資は下げ止まりつつあり、個人消費はおおむね横ばいとなるなど、引き続き持ち直しているものの、そのテンポは緩やかになっております。一方、海外においては、米国の景気は、失業率が高止まりしており、極めて弱い景気回復になっております。アジア諸国の景気は、中国やインドで拡大し、先行きも拡大傾向が続くと見込まれ、その他の国においても総じて景気は回復いたしました。また、欧州主要国の景気は、緩やかに持ち直しているものの、一部の国々における財政不安や高い失業率が継続することなどによる低迷が懸念されております。

このような情勢のもと、当社グループは、主要事業のS（営業）E（生産）D（製品開発）B（購買）機能の強化、海外拠点の体質強化、新規事業推進体制の充実、業務プロセスの改革と人材育成の強化に取り組んでまいりました。研究開発面では、製品の競争力を向上させるために、新たな機構や新材料などを活用した製品開発を強化するなど引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進いたしました。また、東日本大震災の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産への対応を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産に伴う大幅な受注の減少などにより、1,155億2千7百万円と前年同期に比べ419億6千9百万円、26.6%の減収となりました。利益につきましては、アジアなどでの二輪部品の増収に伴う利益の増加や、原価改善効果及び減価償却費の減少などはあったものの、自動車部品及び自動車組立における大幅な減収に伴う利益の減少や研究開発費の増加などにより、経常利益は、5億3千万円と前年同期に比べ23億5千7百万円、81.6%の減益となりました。四半期純損失は、震災による操業停止期間中の固定費など4億1千万円を災害による損失として特別損失に計上したことなどにより、13億4千万円と前年同期の四半期純利益14億9千9百万円に比べ28億4千万円の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

日本においては、自動車部品及び自動車組立における大幅な受注の減少などにより、売上高は、717億9千1百万円と前年同期に比べ373億2千4百万円、34.2%の減収となり、経常損失は、10億6千1百万円と前年同期に比べ5億8千2百万円の減益となりました。

（米州）

米州においては、連結子会社であるヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ エル エル シー（米国）、エー ワイ マニュファクチュアリング リミテッド（米国）及びユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド（米国）における受注の減少や為替換算上の減少などにより、売上高は、148億8千5百万円と前年同期に比べ47億2千7百万円、24.1%の減収となり、経常損失は、8億9千3百万円と前年同期に比べ11億9千2百万円の減益となりました。

（中国）

中国においては、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）及び八千代工業（武漢）有限公司（中国）における受注の減少や為替換算上の減少などにより、売上高は、73億3千5百万円と前年同期に比べ21億7千4百万円、22.9%の減収となり、経常利益は、9億3千8百万円と前年同期に比べ4億2千1百万円、31.0%の減益となりました。

（アジア）

アジアにおいては、連結子会社であるサイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド（タイ）、ゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド（ベトナム）及びゴウシ インディア オートパーツ プライベート リミテッド（インド）における受注の増加などにより、為替換算上の減少などはあったものの、売上高は、215億1千4百万円と前年同期に比べ22億5千7百万円、11.7%の増収となり、経常利益は、17億8百万円と前年同期に比べ8千5百万円、4.8%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,184億9千万円と前年度に比べ48億8千4百万円の増加となりました。

増加した要因は、現金及び預金の減少などがあったものの、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、826億5千7百万円と前年度に比べ57億8千4百万円の増加となりました。

増加した要因は、支払手形及び買掛金や長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、358億3千3百万円と前年度に比べ9億円の減少となりました。

減少した要因は、少数株主持分の増加などがあったものの、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、減価償却費44億3百万円及び長期借入金の純増額27億7千7百万円などがあったものの、法人税等の支払額10億2千7百万円及び有形固定資産の取得による支出62億7千2百万円の資金需要などにより、当第2四半期連結会計期間末における資金残高は94億2百万円となり、前年度に比べ13億3百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、減価償却費44億3百万円及び仕入債務の増加額38億2千5百万円などがあったものの、売上債権の増加額50億3千万円及び法人税等の支払額10億2千7百万円の資金需要などにより、前年同期に比べ78億4千5百万円減少し、22億5千4百万円（前年同期は100億9千9百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ30億1千7百万円増加し、60億7千1百万円（前年同期は30億5千3百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の純増額27億7千7百万円などにより、前年同期に比べ65億6千4百万円増加し、25億8千7百万円（前年同期は39億7千7百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の業績予想につきましては、国内における自動車部品及び自動車組立の受注の増加やアジアでの二輪部品の受注の増加及び原価改善効果などにより、研究開発費の増加、下期の為替の想定レートを1米ドル80円から75円に変更したことに伴う売上高及び利益の為替換算上の減少は見込まれるものの、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに平成23年6月17日に公表した連結業績予想を上回ることとなったため、次のとおり修正しております。

なお、タイで発生した洪水による当社連結子会社への浸水被害及び人的被害は現在のところありませんが、主要顧客の生産の回復状況が不確定であり、業績への影響につきましては、現在予想することが困難であるため、業績予想には反映していません。

今後、業績の予想が可能となり修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

<連結業績の見通し>

売上高	2,700億円（前年度比	11.3%減
営業利益	36億円（前年度比	40.7%減
経常利益	35億円（前年度比	38.2%減
当期純利益	△4億円（前年度比	—

なお、詳細につきましては、本日発表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,722	9,402
受取手形及び売掛金	24,943	29,864
商品及び製品	1,173	1,284
仕掛品	1,820	1,971
原材料及び貯蔵品	4,354	5,027
その他	2,012	2,410
流動資産合計	45,027	49,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,170	43,119
機械装置及び運搬具	83,233	84,684
工具、器具及び備品	38,991	39,517
土地	18,220	18,177
建設仮勘定	4,589	5,147
減価償却累計額	△122,379	△125,490
有形固定資産合計	64,824	65,155
無形固定資産		
のれん	860	717
その他	388	380
無形固定資産合計	1,249	1,097
投資その他の資産	2,504	2,276
固定資産合計	68,578	68,530
資産合計	113,605	118,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,544	25,787
短期借入金	15,506	15,356
1年内返済予定の長期借入金	6,106	7,198
賞与引当金	2,490	2,471
その他	8,955	8,617
流動負債合計	55,603	59,431
固定負債		
長期借入金	15,127	16,806
退職給付引当金	4,933	5,271
その他	1,206	1,148
固定負債合計	21,268	23,225
負債合計	76,872	82,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	32,133	30,552
自己株式	△24	△24
株主資本合計	39,298	37,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	30
為替換算調整勘定	△6,952	△6,907
その他の包括利益累計額合計	△6,858	△6,877
少数株主持分	4,293	4,993
純資産合計	36,733	35,833
負債純資産合計	113,605	118,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	157,497	115,527
売上原価	148,434	108,691
売上総利益	9,062	6,836
販売費及び一般管理費	5,819	6,331
営業利益	3,242	504
営業外収益		
受取利息	43	101
固定資産賃貸料	55	47
助成金収入	13	217
その他	45	92
営業外収益合計	157	458
営業外費用		
支払利息	231	212
為替差損	263	209
その他	16	10
営業外費用合計	511	432
経常利益	2,888	530
特別利益		
持分変動利益	—	21
固定資産売却益	281	100
その他	0	—
特別利益合計	281	122
特別損失		
固定資産売却損	17	8
固定資産除却損	111	68
特別退職金	87	182
災害による損失	—	410
その他	42	4
特別損失合計	259	674
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,910	△21
法人税等	927	789
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,982	△810
少数株主利益	482	529
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,499	△1,340

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	77,991	63,802
売上原価	73,926	60,660
売上総利益	4,064	3,142
販売費及び一般管理費	2,881	3,051
営業利益	1,182	90
営業外収益		
受取利息	25	45
固定資産賃貸料	29	22
その他	16	12
営業外収益合計	70	80
営業外費用		
支払利息	123	104
為替差損	141	149
その他	10	4
営業外費用合計	276	258
経常利益又は経常損失(△)	976	△87
特別利益		
持分変動利益	—	21
固定資産売却益	268	42
その他	0	—
特別利益合計	269	64
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	51	49
特別退職金	7	61
災害による損失	—	302
その他	1	4
特別損失合計	62	419
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,182	△442
法人税等	279	132
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	903	△574
少数株主利益	222	309
四半期純利益又は四半期純損失(△)	681	△884

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,982	△810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	64
為替換算調整勘定	△1,127	18
その他の包括利益合計	△1,199	82
四半期包括利益	783	△728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394	△1,231
少数株主に係る四半期包括利益	388	502

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	903	△574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	79
為替換算調整勘定	△1,704	△514
その他の包括利益合計	△1,711	△435
四半期包括利益	△807	△1,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△925	△1,296
少数株主に係る四半期包括利益	118	286

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,910	△21
減価償却費	5,845	4,403
のれん償却額	143	143
賞与引当金の増減額(△は減少)	293	△19
受取利息及び受取配当金	△49	△107
支払利息	231	212
有形固定資産売却損益(△は益)	△251	△91
有形固定資産除却損	111	68
売上債権の増減額(△は増加)	1,940	△5,030
たな卸資産の増減額(△は増加)	△699	△1,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,160	3,825
その他	1,737	1,025
小計	11,052	3,407
利息及び配当金の受取額	43	109
利息の支払額	△216	△235
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△780	△1,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,099	2,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,242	△6,272
有形固定資産の売却による収入	662	185
その他	525	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,053	△6,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△11,372	△126
長期借入れによる収入	10,200	5,600
長期借入金の返済による支出	△2,846	△2,822
配当金の支払額	△216	△240
その他	257	175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,977	2,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	△241	△73
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,825	△1,303
現金及び現金同等物の期首残高	4,796	10,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,622	9,402

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	109,116	19,613	9,510	19,256	—	157,497	—	157,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,350	242	5	67	—	4,665	(4,665)	—
計	113,467	19,855	9,516	19,323	—	162,162	(4,665)	157,497
セグメント利益 (又はセグメント損失)	△479	299	1,359	1,794	△0	2,972	(83)	2,888

(注) 1 セグメント利益の調整額△83百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	71,791	14,885	7,335	21,514	—	115,527	—	115,527
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,484	3	88	80	—	3,656	(3,656)	—
計	75,276	14,889	7,424	21,594	—	119,184	(3,656)	115,527
セグメント利益 (又はセグメント損失)	△1,061	△893	938	1,708	7	698	(168)	530

(注) 1 セグメント利益の調整額△168百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	53,013	10,540	4,604	9,832	—	77,991	—	77,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,349	139	3	33	—	2,526	(2,526)	—
計	55,363	10,680	4,607	9,866	—	80,517	(2,526)	77,991
セグメント利益 (又はセグメント損失)	△442	△61	598	911	△0	1,005	(28)	976

(注) 1 セグメント利益の調整額△28百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	45,392	5,124	2,502	10,783	—	63,802	—	63,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,718	1	22	42	—	1,785	(1,785)	—
計	47,111	5,125	2,525	10,826	—	65,588	(1,785)	63,802
セグメント利益 (又はセグメント損失)	△199	△784	171	793	3	△14	(73)	△87

(注) 1 セグメント利益の調整額△73百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。